

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 5 - 2 9 0 4 7 3

(43) 公開日 平成 5 年 (1993) 11 月 5 日

(51) Int. Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G11B 15/68	J	9296-5D		
27/024				
33/10	A	8224-5D	G11B 27/02	C

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願平 4 - 1 1 8 4 0 5	(71) 出願人	0 0 0 0 0 2 1 8 5 ソニー株式会社 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号
(22) 出願日	平成 4 年 (1992) 4 月 1 1 日	(72) 発明者	小岩 雄一 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号ソニ 一株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 田辺 恵基

(54) 【発明の名称】 素材送出装置

(57) 【要約】

【目的】 所定の放送素材が記録された記録媒体を複数収納し、必要に応じて所定の再生装置から上記放送素材を選択的に送出する素材送出装置において、所定の表示手段によつて表示される記録媒体のデータを一段と見やすくする。

【構成】 記録媒体に記録されている素材の種類及び又は素材の数に応じて当該記録媒体のデータを所定の表示手段によつて色分け表示するようにしたことにより、特定の記録媒体のデータを一段と判別し安くすることができる。

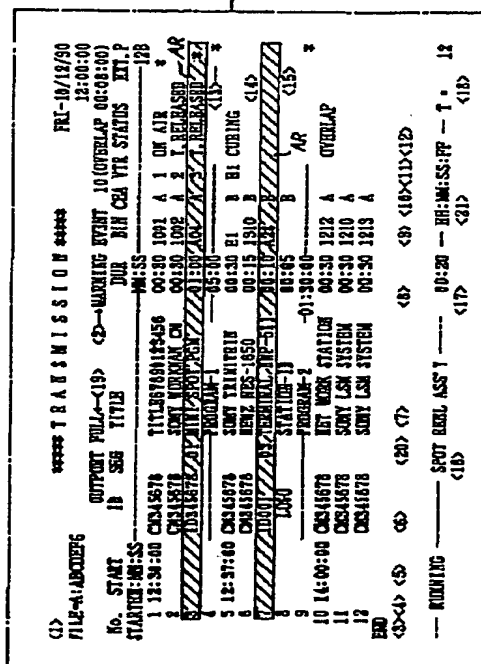


図3 画面表示

BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項 1】所定の放送素材が記録された記録媒体を複数収納し、必要に応じて所定の再生装置から上記放送素材を選択的に送出する素材送出装置において、

上記記録媒体に記録された放送素材の種類に応じて、表示手段に表示される上記記録媒体のデータを色分けするようにしたことを特徴とする素材送出装置。

【請求項 2】所定の放送素材が複数記録された記録媒体を複数収納し、必要に応じて所定の再生装置から上記放送素材を選択的に送出する素材送出装置において、

上記記録媒体に記録された放送素材の数に応じて、表示手段に表示される上記記録媒体のデータを色分けするようにしたことを特徴とする素材送出装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【産業上の利用分野】本発明は素材送出装置に関し、特にカセットに収録した放送素材を必要に応じて直接オンエアする場合に適用して好適なものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】従来、放送システムにおいては、図 4 に示すような構成のものが提案されている（特開平 3-2787 32 号公報）。すなわち図 4 に示すように、放送素材、例えば番組素材、コマーシャル（CM）素材など各素材ごとに収録してなる例えばテープカセット構成のカセット 1 をカートマシン 2 のカセット収納部 3 A 又は 3 B に収納し、放送順序に従って作成された送出順リストに従って放送素材が収録されているカセット 1 をカセット収納部 3 A 又は 3 B から搬送機構を介して自動的に順次取り出して複数のビデオテープレコーダ（VTR）で構成されたビデオテープレコーダ部 4 A 又は 4 B に自動的に装着し、かくして送出順リストによつて決められた放送開始時刻において順次再生した放送素材情報 S 1 A 又は S 1 B をスイッチャ 5 を通じてカートマシン 2 の外部に主送出情報 S 2 として送出し、これを送出装置 7 を通じてオンエア伝送路 8 に直接送出するようにしたものが用いられている。

【 0 0 0 3 】カートマシン 2 には下位コンピュータを構成するデバイスコントローラ 1 1 が設けられ、上位コンピュータを構成するシステムコントローラ 1 2 のキーボードを用いてオペレータが送出順リストに基づいて送出制御情報 S 3 を入力することにより、カセット収納部 3 A、3 B、ビデオテープレコーダ部 4 A、4 B 及びスイッチャ 5 との間にそれぞれ制御情報 S 1 1 A、S 1 1 B、S 1 2 A、S 1 2 B 及び S 1 3 を交信し、これにより、カセット収納部 3 A、3 B 及びビデオテープレコーダ部 4 A、4 B 間のカセットの取出処理及び返却処理、ビデオテープレコーダ部 4 A 及び 4 B における記録再生処理、スイッチャ 5 におけるスイッチング処理を制御できるようになされている。

【 0 0 0 4 】システムコントローラ 1 2 によるカートマ

シン 2 の制御状態はモニタ 1 3 の表示画面上に表示され、特にカートマシン 2 に故障ないし異常が発生した場合にはメッセージ 1 3 A をモニタ 1 3 の表示画面上に表示するようになされている。

【 0 0 0 5 】図 4 の構成の素材送出装置をコマーシャル素材送出システムとして適用する場合、1 本のカセットに 1 つのコマーシャル素材を収録するいわゆる 1 カセット 1 CM 方式のものと、1 本のカセットに多数のコマーシャル素材を収録するいわゆるマルチセグメント方式のものがあり、マルチセグメント方式の方がカートマシン 2 に収録することができるコマーシャル素材の数を格段的に大規模にできる利点があり、コマーシャル素材送出装置においてはマルチセグメント方式が主流となっている。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】ところでこの種の素材送出装置において使用するカセットは、その使用状態に応じて 2 つの種類に分けられている。すなわち第 1 の種類のカセットは常にカートマシン 2 内の収納部 3 A に収納されており、当該カートマシン 2 内でダビング、編集等が行われて所定の放送素材が作成される（以下このカセットをマザーイベントカセットと呼ぶ）。

【 0 0 0 7 】これに対して第 2 の種類のカセットはカートマシン 2 の外部で放送素材が作成されるようになされている（以下このカセットをイクスターナルカセットと呼ぶ）。

【 0 0 0 8 】このマザーイベントカセットは図 4 に示すカートマシン 2 の収納部 3 A に収納され、VTR 部 4 A によつてその放送素材が送出される。またイクスターナルカセットは収納部 3 B に収納され、VTR 部 4 B によつてその放送素材が送出される。

【 0 0 0 9 】ここで当該素材送出装置においては、モニタ 1 3 にカセットの送出順リストが表示されるようになされており、この送出順リストは放送素材の複数のデータがカセットごとに送出順に画面上をスクロールして表示される。

【 0 0 1 0 】ところがマザーイベントカセット及びイクスターナルカセットの表示の違いは表示データの先頭位置に所定の識別符号が付されているだけであり、ユーザは当該イクスターナルカセットの放送素材が送出される予定であることを容易に識別し得ない問題があつた。

【 0 0 1 1 】本発明は以上の点を考慮してなされたもので、ユーザが容易にイクスターナルカセット等の特定の表示データを判別し得る素材送出装置を提案しようとするものである。

【 0 0 1 2 】

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するため第 1 の発明においては、所定の放送素材が記録された記録媒体 1 を複数収納し、必要に応じて所定の再生装置 4 A、4 B から放送素材を選択的に送出する素材送出装

置において、記録媒体 1 に記録された放送素材の種類に応じて、表示手段 1 3 に表示される記録媒体 1 のデータを色分けするようにする。

【0013】また第 2 の発明においては、所定の放送素材が複数記録された記録媒体 1 を複数収納し、必要に応じて所定の再生装置 4 A、4 B から放送素材を選択的に送出する素材送出装置において、記録媒体 1 に記録された放送素材の数に応じて、表示手段 1 3 に表示される記録媒体 1 のデータを色分けするようにする。

【0014】

【作用】表示手段 1 3 に表示される複数の記録媒体 1 のデータについて、当該記録媒体 1 に記録されている放送素材の種類及び又は数に応じて表示されるデータを色分けすることにより、特定の記録媒体 1 を一段と判別し易くすることができる。

【0015】

【実施例】以下図面について、本発明の一実施例を詳述する。

【0016】図 4 との対応部分に同一符号を付して示す図 1 において、1 2 は全体としてシステムコントローラを示し、当該システムコントローラ 1 2 には選択された処理メニューによつて起動する複数のプロセスが設けられている。

【0017】すなわち端末（端末装置）1 4 からユーザによつて入力されたキー入力 S_{in} をマンマシンインタフェース 3 1 において内部データに変換し、制御部 3 2 に入力する。制御部 3 2 は入力されたキーデータ D_{in} を記憶しておくと共に当該システムコントローラ 1 2 全体の処理タイミングを制御するようになされており、キーデータ D_{in} に基づいて、データベース管理部 3 3 にデータベース 3 4 の内容を確認するようになされている。データベース 3 4 にはカートマシン 2 内のカセット 1 の録画情報が記憶されている。

【0018】また駆動部 3 5 は制御部 3 2 からの制御データ D_{con} をカートマシン 2 を駆動し得る駆動信号 S_o に変換し、これをカートマシン 2 に送出する。従つて例えばユーザの端末操作によつて CM（コマーシャル）の送出プログラムが実行されると、マンマシンインタフェース 1 3 からキーデータ D_{in} により制御部 3 2 に処理が依頼される。このとき制御部 3 2 はデータベース管理部 3 3 に対して現在カートマシン 2 に収納されているカセット 1 を確認し、当該カセットを送出するための制御データ D_{con} を駆動部 3 5 に送出し、これにより駆動信号 S_o をカートマシン 2 に送出することにより、所定のカセット 1 を送出プログラムに従つて送出する。

【0019】ここでユーザの端末操作によつて所定の放送素材を送出するプログラムが実行されると、制御部 3 2 は図 2 に示すステップ S P 1 から画面表示の色分け処理手順に入り、ステップ S P 2 においてカートマシン 2 に収納されているカセットの背面に貼付されているバー

コードから情報を読み取り、続くステップ S P 3 において当該カセットがマザーイベントカセットであるか又はイクスターナルイベントであるかを判断する。

【0020】ここで肯定結果が得られると、このことは当該カセットがマザーイベントカセットであることを表しており、このとき制御部 3 2 はモニタ 1 3 の表示画面上に表示される当該カセットのデータを当該マザーイベントカセットに対応した色 X で表示する。

【0021】これに対してステップ S P 3 において否定結果が得られると、このことは当該カセットがイクスターナルカセットであることを表しており、このとき制御部 3 2 はモニタ 1 3 の表示画面上に表示される当該カセットのデータをイクスターナルカセットに対応した色 Y で表示する。

【0022】この結果モニタ 1 3 の表示画面上には図 3 に示すようなデータが表示される。すなわち図 3 の表示画面において、第 3 のデータ及び第 7 のデータがイクスターナルカセットを表すデータであり、当該データは他のマザーイベントカセットを表すデータと色分けされて表示される。この色分けは当該データの文字を取り囲む領域 A R を所定の色 Y で表示する。

【0023】さらに制御部 3 2 は図 2 のステップ S P 6 において送出プログラムが終了するかどうかを判断し、肯定結果が得られるまで上述のステップ S P 2 ～ステップ S P 5 の処理を繰り返す。

【0024】かくしてモニタ 1 3 の表示画面にはイクスターナルカセットのデータの表示領域 A R だけが他の部分と異なる色 Y によつて表示され、これによりユーザは当該色分けされたデータから、当該データがイクスターナルカセットのデータであることを容易に判別することができる。

【0025】以上の構成によれば、モニタ 1 3 の表示画面に表示された複数のカセットデータのうち、イクスターナルカセットのデータだけを色分けして表示するようにしたことにより、ユーザが一段と容易に当該イクスターナルカセットを見分けることができる。

【0026】なお上述の実施例においては、イクスターナルカセットのデータを取り囲む領域 A R を色分けして表示する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、当該データの文字だけを色分けして表示する等、種々の色分け方法を用いることができる。

【0027】また上述の実施例においては、イクスターナルカセットのデータを色分けした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、マザーイベントカセットのデータだけを他の表示領域の色と異なる色として表示するようにしても良い。

【0028】また上述の実施例においては、マザーイベントカセット及びイクスターナルカセットを色分け表示した場合について述べたが、本発明はこれに限らず、イクスターナルカセットの中でも、さらに 1 カセット 1 C

M方式のものとマルチセグメント方式のものを色分け表示したり、カートマシン 2 に接続されていない VTR を使用して送出されるブレイクイベントカセット及びカートマシン 2 に接続されている VTR 以外のラインに接続されている機器によつて送出されるロゴイベントカセットのそれぞれのデータを色分け表示するようにしても良い。

【0029】さらに上述の実施例においては、カセットに記録されている放送素材の種類によつて表示データを色分けする場合について述べたが、本発明はこれに限らず、1 本のカセットに記録されている放送素材の数に応じて当該カセットのデータを色分け表示するようにしても良い。

【0030】

【発明の効果】 上述のように本発明によれば、記録媒体に記録されている素材の種類及び又は素材の数に応じて

当該記録媒体のデータを所定の表示手段によつて色分け表示するようにしたことにより、特定の記録媒体のデータを一段と判別し安くすることができる素材送出装置を実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明による素材送出装置の一実施例を示すブロック図である。

【図 2】 画面表示のカセット色分け処理手順を示すフローチャートである。

10 【図 3】 モニタの画面表示例を示す略線図である。

【図 4】 カートマシンの構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

1……カセット、2……カートマシン、3A、3B……カセット収納部、4A、4B……VTR部、12……システムコントローラ、13……モニタ、14……端末装置、AR……表示領域。

【図 1】

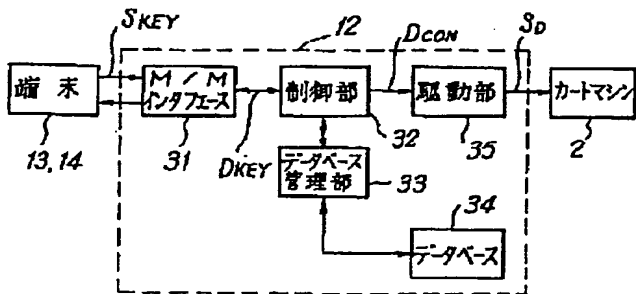


図 1 全体構成

【図 4】

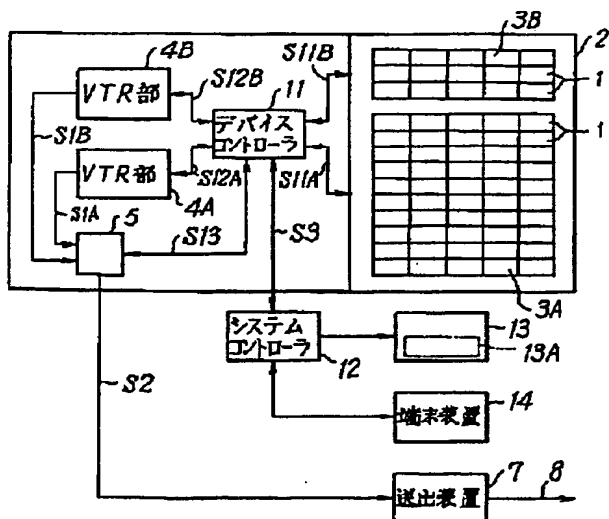


図 4 カートマシンの構成

【図 2】

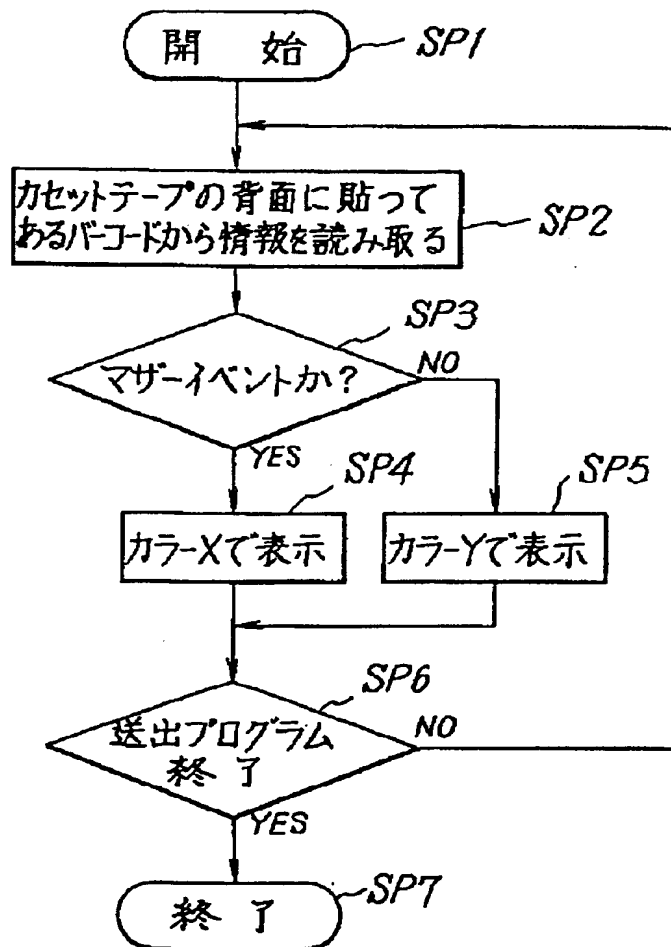


図 2 画面表示のカセット色分け処理

【 図 3 】

***** T R A N S M I S S I O N *****

PRI-10/12/90
12:00:00

OUTPORT FULL<19> <2>--WARNING EVENT 10(OVERLAP 00:08:00)

No. START ID SEG TITLE DUR BIN CHA VTR STATUS EXT.P

STARTHH:MM:SS MM:SS

1	12:30:00	CN345678	TITLE67890123456	00:30	1001	A	1	ON AIR	*	12B
2		CN345678	SOMY WORKMAN CM	00:30	1002	A	2	T. RELEASED	AR	
3		10345678	01/MINI/SPOT/PGM	01:00	A04	A	3	T. RELEASED	*	
4			PROGRAM-1	05:00						<13>
5	12:37:00	CN345678	SOMY TRINITRIN	00:30	E1	B	E1	CUBING	*	
6		CN345678	NEWZ NES-1850	00:15	1310	B				<14>
7		10001	03/TERRINAL/NWP-511	00:10	A28	B				
8		LOGO	STATION-ID	00:05	B					<15>
9			PROGRAM-2	01:30:00					AR	*
10	14:00:00	CN345678	NET WORK STATION	00:30	1212	A		OVERLAP		
11		CN345678	SOMY LSM SYSTEM	00:30	1210	A				
12		CN345678	SOMY LSM SYSTEM	00:30	1213	A				
END										
<3><4>	<5>	<6>	<20>	<7>	<8>	<9>	<10>	<11>	<12>	
--- RUNNING --- SPOT REEL ASS'Y --- 00:20 --- HH:MM:SS:FF --- T = 12										
<16> <17> <21> <18>										

図 3 画面表示

BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)